

\*スクーリングはHJ45のテキストで行います。HH34で履修している方にはスクーリングの受講許可後HJ45のテキストを配布します。この対応は2025年度限りです。詳しくは8ページをご参照ください。

専門教育科目

講義科目

科目名:	<b>社労士の基本を学ぶ</b>		科目コード	HJ45	
科目主査:	<b>依田 朗裕</b>	担当講師:	<b>北川 和善、中島 典子、細道 由紀、 依田 朗裕、若林 芳勝</b>	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		
社会保険労務士コースの学習を始めるに際し、最初に取り組むべき科目です。本科目では国家試験の内容、学習の方法、法律の基礎知識を学習したうえで、各試験科目についてその概要を学習します。さらに国家試験科目間の相互関係とその基礎部分の確かな理解を深めます。					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:			
履修の前提となる知識 その他特記事項	初学者向けの内容です。特に前提となる科目はありません。事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったらマーキングしておきましょう。				
テキスト	『社労士はじめの一步』TAC社会保険労務士講座(編),TAC出版,最新版				
この科目の到達目標	①社労士試験の内容と法律の基礎について理解し、横断的に整理・考察できる。 ②社労士試験科目(労働関係諸法、労働保険関係諸法、社会保険関係諸法、一般常識)の概要を理解して、社労士試験科目の重要箇所について説明できる。				
成績評価の方法	授業時間のすべての時間にアクセスしていることを条件に、初日課題と最終試験の得点で評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出(白紙提出不可)をもって、採点対象とする。				
事後学習	①(インプット)基本テキストを決め、それを通読する。②(アウトプット)①で学んだ内容に対応する社会保険労務士試験の「過去問題集」の解説をよく読みながら解き、不明点を基本テキストに戻り理解を深める。③上記①・②を繰り返す。				
事後学習の参考文献	『ごうかく社労士基本テキスト』秋保 雅男,中央経済社,最新版 『みんなが欲しかった!社労士の教科書』滝澤 ななみ,TAC出版,最新版				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					